

令和3年7月15日会議概要

第1 日時

令和3年7月15日（木）午前9時30分から午後0時までの間

第2 出席者

平林委員長、長谷委員、森委員、森田委員、増田委員
警察本部長、総務部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、
警備部長、警察学校長、京都市警察部長、情報通信部長
《書記 公安委員会補佐室長、公安委員会補佐室室長補佐》

第3 議事の概要

1 委員報告

(1) 向日町警察署協議会（7月8日）

委員から、「昨年はコロナの影響で警察署協議会には参加できなかったが、今回、久しぶりに向日町警察署協議会に参加した。昨年の向日町警察署協議会の開催はコロナの関係により1回のみであったが、コロナ禍における広報啓発活動として『向日町警察署のあゆみ』を作成した旨の報告があった。また、管内の刑法犯認知件数や交通事故発生状況等の報告があり、協議会委員は、交差点における手上げ横断や自転車の運転について非常に関心が高かったことから、今後、協議会を通じて様々な提言がなされる予定である。」旨の報告があった。

(2) 中京警察署協議会（7月9日）

委員から、「中京警察署協議会は、昨年はコロナの影響で開催がなく、今回、久しぶりの開催となった。協議会委員は、男女比が5対8で女性委員が多く、年齢層も若く、非常にバランスのとれた構成であると感じた。会議では、管内の刑法犯認知件数や交通事故発生状況等の報告があり、署長からは、事故を起こさない道路づくりとして危険箇所を点検し、また、様々な意見に対しても真摯に受け止めて、しっかりと対処したい旨の発言があった。協議会委員からも、警察の広報啓発活動について、要請を受ければ、積極的に協力させてもらう旨の発言があった。」旨の報告があった。

2 警察本部報告

(1) 令和2年度「全ての職員が活躍できる京都府警察の構築に向けた基本計画」の検証結果について

警務部長から、令和2年度「全ての職員が活躍できる京都府警察の構築に向けた基本計画」にかかる検証結果の概要や取組内容等について報告があった。

委員から、「職員を対象としたアンケート結果で、価値観や意識の改革が進んだと回答した比率が増加していることから、大きな進歩であり、引き続き実効が上がるようお願いしたい。」旨の発言があった。

他の委員から、「警察官に占める女性職員の割合を上げるにあたって、採用時の女性の割合や途中退職者の人数等もしっかりと考慮されたい。」旨の発言があり、本部長から、「女性の採用人数はもちろんのこと女性職員の出産や育児に関することも充実させ、継続して勤務できるよう進めていきたい。」旨の回答があった。

他の委員から、「年休取得について、民間では、使用者側から強制的に5日取得させるという制度となっている。このことは警察には適用されないが、その精神は同様と思われるので、職員には5日間の完全取得をお願いしたい。」旨の発言があり、警務部長から、「昨年、ほぼ全職員が、最低取得日数の5日間を取得した。本年は、完全取得を達成したい。」旨の回答があった。

(2) 令和3年上半期（6月末）の犯罪情勢について（暫定値）

生活安全部長から、令和3年上半期現在の刑法犯認知件数や府下重点抑止犯罪である自転車盗、性犯罪等の認知状況等の犯罪情勢について、また、刑事部長から、刑法犯検挙件数や検挙率等について報告があった。

(3) サイバー犯罪対策課Twitter アカウムの開設について

生活安全部長から、コロナ禍により従来の対面による広報啓発活動が困難な状況にあるため、本年7月19日から、幅広い年齢層で利用されるTwitter（ツイッター）を活用し、サイバー犯罪被害防止に関する情報をタイムリーかつ効果的に発信することについて報告があった。

委員から、「このツイッターが、サイバー犯罪対策に有効に機能すれば良いと思う。」旨の発言があった。

(4) 教養資料（DVD）の作成について

地域部長から、過去に発生した警察官1人が負傷、警察車両2台が損壊した公務執行妨害被害疑事件を映像化し、現場警察官の危機意識の向上、平素の教養訓練の重要性などを目的とするDVD教材を作成したことについて報告があった。

委員から、「実際の映像が最も説得力があるので、様々な教養で活用されたい。」旨の発言があった。

(5) 令和3年上半期（6月末）の特殊詐欺情勢について（暫定値）

刑事部長から、令和3年上半期現在の特殊詐欺等の被害認知状況や検挙状況、水際阻止事例等について報告があった。

委員から、「件数が減少しているにもかかわらず、被害金額が減少していないのはなぜか。」旨の質問があり、刑事部長から、「昨年はキャッシュカードすり替え型が多数を占めていたが、上半期は現金手交型が増えたことが、要因の一つと考えられる。」旨の回答があった。

他の委員から、「受け子と高齢被害者が女性同士という場合、気を許してしまい被害に遭いやすくなるのではないかと考えるが、女性の受け子は増加しているのか。」旨の発言があり、刑事部長から、「女性の受け子は、昨年辺りから少しずつ増加傾向にある。」旨の回答があった。

(6) 殺人被疑事件の発生・検挙について

刑事部長から、捜査第一課及び向日町署は、令和3年7月9日、京都市内の宿泊施設において、男性被害者の背部等を刃物で刺すなどして殺害した女性1人を、令和3年7月10日、殺人罪で検挙したことについて報告があった。

(7) 令和3年上半期（6月末）の京都府内の交通事故発生状況について

交通部長から、令和3年上半期現在の京都府内の交通事故発生状況、地域別・時間帯別

等の死傷者事故の状況等について報告が行われた。

委員から、「コロナ禍でUber Eats等の宅配サービスが増加している。宅配サービスに絡む事故は多いのか。」旨の質問があり、交通部長から、「統計を取っていないので詳細は不明であるが、そうした会社に対してスマートフォンを利用して安全運転に関する情報を提供しており、最近では、運転に関する苦情などは報告されていない状況である。」旨の回答があった。

(8) 通学路における合同点検の実施について

交通部長から、先月、千葉県八街市において、小学生5人が死傷する交通事故が発生するなど、通学路における交通事故が未だ後を絶たないことから、京都府下においても、本年10月末までの間、通学路における合同点検等の各種対策を実施することについて報告があった。

(9) 「令和3年夏の交通事故防止府民運動」の実施について

交通部長から、広く府民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、府民自身による道路交通環境の改善に向けた取組を推進することにより、交通事故防止の徹底を図るため、令和3年7月21日から7月31日までの11日間に実施される令和3年夏の交通事故防止府民運動の概要について報告があった。

(10) 福島県警察に対する京都府警察職員の特別派遣について

警備部長から、警察法第60条第1項に基づく、福島県公安委員会からの援助の要求について報告があった。

(11) 初任科第257期（長期課程）卒業式の実施について

警察学校長から、令和3年7月27日、警察学校で実施する初任科第257期卒業式の実施概要、参加者、入校中の教養状況等について報告があった。

委員から、「コロナの感染防止策として、これまで公安委員の出席を控えてきたが、今後は、感染状況を見据えつつ、卒業式などの式典に出席したいと考えている。」旨の発言があった。

(12) 監察案件1件

首席監察官から、監察案件1件について報告があった。

(13) 追加報告

京都府迷惑防止条例違反事件の検挙について

生活安全部長から、「ハグ（抱擁）して下さい」などと言って路上で女性に抱きついて身体を触ったとして、令和3年7月12日、京都府迷惑防止条例違反（卑わいな行為の禁止）でインド国籍の男を検挙したことについて報告があった。

(14) 本部長総括報告

本部長から、「これから夏休みの期間に入る。我々職員も、休みを取得できるときはしっかりと取得して、鋭気を養いたいと思う。」旨の発言があった。

3 個別報告

当面の行事予定等について

公安委員会補佐室長から、次回の公安委員会定例会議及び出席予定行事等について報告があった。

4 同意案件について

本部長から、警務部長の異動に関する報告があり、同意を得た。

5 決裁

公安委員会宛て苦情等申出について（処理2件）

公安委員会補佐室室長補佐から、公安委員会宛ての苦情等申出に関して、調査結果及び通知案について説明があり、審議の上、通知内容を決定した。

6 聴聞

運転免許関係行政処分について

交通部聴聞官から、道路交通法の規定に基づく運転免許の行政処分に係る聴聞、意見聴取の結果について説明があり、26件の行政処分を審議した。